

社会

社会科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
資料から目的に応じた事実を読み取ることができること	資料などから読み取った事実を基に、自分の意見をもつこと

	児童・生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第3学年	<p>ア身近な地域について、具体的資料を通して、必要な情報を調べ、まとめる力を養う必要がある。</p> <p>イ課題解決に向けて、社会への関わり方を選択・判断して、表現する力を養う必要がある。</p>	<p>ア調査活動のほか、地図帳や地域の平面地図、立体地図、写真、実物などの具体的資料を活用する。</p> <p>イ自分自身で地域や生活における課題を見だし、解決するための話し合い活動を行う。</p>	<p>ア年間を通して</p> <p>イ年間を通して</p>	<p>ア提示する資料を精査することで、課題に応じて情報を読み取り、それを基にまとめることができるようになってきた。</p> <p>イ学習したことを新聞等にまとめることを通して、地域との関わりについて考えることができるようになってきた。</p>
第4学年	<p>ア自分の都道府県の特徴について、具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる力を養う必要がある。</p> <p>イ課題解決に向けて、社会への関わり方を選択・判断して、表現する力を養う必要がある。</p>	<p>ア調査活動や具体的資料を通して調べ、白地図や年表、新聞にまとめるようにする。</p> <p>イ単元のまとめを文章で記述したり、資料などを用いて説明したり話し合ったりする。</p>	<p>ア年間を通して</p> <p>イ年間を通して</p>	<p>ア必要な情報を精査し、適切にまとめることができるようになってきた。</p> <p>イ資料や読み取ったことを基にして、自分の考えや関わり方について書ける児童が増えてきた。</p>
第5学年	<p>ア我が国の国土や産業について、基礎的資料を通して情報を適切に調べまとめる技能を養う必要がある。</p> <p>イ社会との関わり方を選択・判断したことを、説明したり、議論したりする力を養う必要がある。</p>	<p>ア地図帳や地球儀、統計などの各種の基本的資料を複数活用し、調査内容を全体で共有する。</p> <p>イ資料などを用いて説明したり、根拠や理由などを明確にして議論したりする。</p>	<p>ア年間を通して</p> <p>イ年間を通して</p>	<p>アデータの読み取り方を全体で確認し、必要に応じて資料集などの情報も取捨選択できるようになってきた。</p> <p>イ考えの根拠や理由などを書いたり相手に伝えたりする場面を設けたことで、今の社会の現状を捉え、今後どのように関わっていくことが大切か考えられる児童が増えてきた。</p>
第6学年	<p>ア我が国の政治や先人の業績、関係の深い国などについて、基礎的資料を通して情報を適切に調べまとめる技能を養う必要がある。</p> <p>イ社会との関わり方を選択・判断したことを、説明したり、議論したりする力を養う必要がある。</p>	<p>ア地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を複数活用して、読み取る活動をする。</p> <p>イ複数の立場や意見を踏まえて考えたり、社会における課題を見いだしたりして、議論する。</p>	<p>ア年間を通して</p> <p>イ年間を通して</p>	<p>ア情報収集に必要な資料を自分で選び、情報を得ることで、課題についてまとめる力が向上した。</p> <p>イ歴史上の出来事など、一方からの視点ではなく、他方の立場で考えるなど、多面的に事象を捉え、議論できるようになってきた。</p>

<p><b>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</b></p> <p>【個別最適な学び】…進捗状況や特性などに応じて、インターネットや教科書などの文献、個別やグループなど、学習形態を選択できるようにする。                  中学年…情報収集場面での活用、学習課題やめあての設定場面での活用                  高学年…課題解決における、情報の整理や選択場面での活用</p> <p>【協働的な学び】…個別最適な学びを充実させるために、ICT 機器を活用して収集した情報を共有しながら、よりよい考えを出すことができるようにする。                  中学年…交流・共有する場面での活用、整理・まとめをする場面での活用                  高学年…協議・討論する場面での活用、表現・実践する場面での活用</p>	<p><b>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</b></p> <p>【学習の流れを明確にする】                  ①社会的事象との出会い ②学習問題を立てる ③予想をする                  ④学習計画を立てる ⑤調べる ⑥まとめる ⑦自分なりの考え(答え)</p> <p>【学習の個性化を図っていく】                  ○異なる目標を、一人一人が達成することを目指していく                  ○一人一人の興味関心に応じていく                  ○学習活動や課題に取り組む機会を提供していく</p>
---	---

